

特 記 仕 様 書

1. 適 用

- (1) 本特記仕様書は、道路除草業務に適用する。
- (2) 履行報告について、路線ごとの業務履行状況を1週間以内に報告すること。
- (3) 数量の変更等については必ず事前に協議書を提出し、承認を受けること。
- (4) 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・広島県土木工事共通仕様書
 - ・その他関連規格類

2. 除草作業について

(1) 施工時期

- ① 県道
 - ・1回目 6月初旬～7月初旬
 - ・2回目 8月末～9月中旬(ただし、通学路については8月末までに施工すること。)
 - ・1回のみ箇所 7月中旬～8月中旬(県道に限る)
- ② 市道
 - ・原則年1回施工(6月初旬～7月初旬)気象状況及び現場状況により施工時期を協議する。(別添図面参照)
 - ※支所管内に係る除草については施工時期を支所と協議すること。

(2) 施工方法

- ① 権限移譲路線
 - ・1回目 委託路線全線 (別添図面参照)
 - ・2回目 通学路を中心に必要に応じて行う。(監督員の指示による。)
- ③ 境界部
 - ・歩車道境界ブロック及び擁壁等の際刈りに適用する。

(3) 施工報告

- ・施工着手前に書面により、施工路線及び施工年月日を報告すること。
- ・1回目の作業が全て終了した時点で施工数量を監督員に報告すること。

(4) 出来高検査

- ① 写真撮影項目
 - ・施工状況(黒板には、業務名、路線名、測点、左右を記入)
 - ・施工幅はポールで明示すること。
 - ・飛び石防護の実施状況を明示すること。
- ② 撮影時期
 - ・施工前, 施工中, 施工後
- ③ 撮影頻度
 - ・原則として2kmに1回撮影すること。
- ④ 工事写真帳
 - ・A4版で整理すること。
 - ・同一ページで路線ごとに施工前, 施工中, 施工後を整理すること。

- ・ 写真撮影位置は、同一箇所から同一方向に撮影したものとする。

⑤ 図面及び
数量計算書

位置図及び展開図
施工箇所を引き出し線(赤着色)及び展開図にて表示すること。
展開図には、番号を記入し計算書と対比させる。
写真撮影箇所は、No.を記入する。
写真台帳及び数量計算書は、A4版を使用する。

⑥ 提 出

写真及び資料の提出は、原則として精算時とする。1回目の出来高払いを受ける場合は数量計算書及び各路線ごとの数箇所程度の写真を提出すること。

⑦ 処分について

除草した草の処分については、原則再利用することとする。その場合受入者の承諾書を提出すること。これにより難しい場合は監督員と協議すること。

3. 交通管理(交通誘導員)

工事の施工にあたり近隣住民及び一般交通に極力迷惑を掛け不要十分留意し作業するものとし、必要に応じ交通整理員を配置すること。

4. 工事現場における監理技術者等の確認の措置について

現場の管理

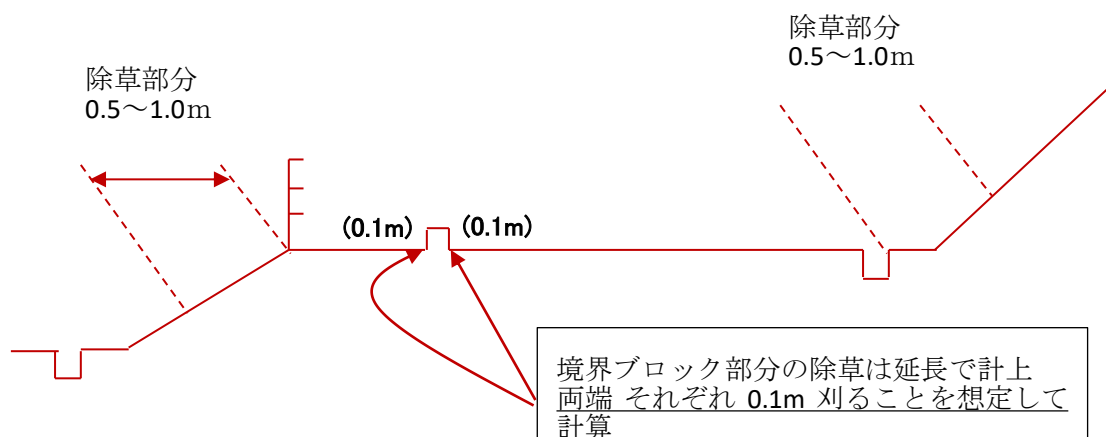
請負者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者(下請を含む)に工事名、工期、顔写真、所属会社名、及び証明印の入った名札を着用するものとする。

名札の例

写 真 2cm × 3cm 程 度	監理(主任技術者)
	氏名 ○○ ○○
	道路除草業務
	工期 自 令和○○年○○月○○日 至 令和○○年○○月○○日
	□□建設株式会社 印

除草工標準図

歩道あり



※歩道側：歩道幅員1.5m以上は除草幅0.5mで施工

その他：直線部または見通しのいい箇所は除草幅0.5mで施工

歩道なし

